



食の未来づくり運動

私の宣言

フードロスをなくすため、
小まめに冷蔵庫チェックをしています。
(港区 ペンネーム:最中好蔵)

行動目標
1

食料自給率
の向上

食費の5割以上は東都生協の
商品を利用し、食卓から日本
の農業を応援しよう

行動目標
2

日本の農業を
元気に

行動目標
3

持続可能な
社会に向けて

産地を知って応援！ 身近に感じて、安全・安心！

(株)秋川牧園

16農場が山口県・島根県・福岡県・熊本県の4県にあり、「安心でおいしい鶏肉を提供するためには健康な鶏を育てることが大切」と考え、飼育環境や飼料にこだわっています。



自然に近い環境で
のびのび、じっくり飼育

自然光と風が入る開放型鶏舎の中で、飼育羽数は1坪あたり35羽以下。これは、一般的な飼育羽数(50~60羽)の半分ほどの密度です。さらに、通常より10日ほど長い「60日以上」かけてじっくり育てているので、歯ごたえとうま味が増します。

秋川牧園の若鶏の魅力

飼育期間中の抗生物質・
合成抗菌剤は不使用

適度な運動によってストレスが少なく育つ鶏は、抵抗力が養われ、病気にかかりにくくなります。そのため、抗生物質や合成抗菌剤を使用せずに育てることができます。

「人が食べても大丈夫」の
こだわりの飼料

飼料には、すべてNon-GMO(非遺伝子組換え)の植物性原料を使用し、とうもろこしは収穫後農薬不使用のPHFコーンです。動物由来の飼料を使用しないので、臭みの少ない肉質になります。また、「国産飼料用米」を10%以上配合することで、食料自給率の向上だけでなく、水田保全や休耕田活用へも貢献しています。

■おすすめ商品 ※10月4回・11月1回ともに
秋川牧園の若鶏ムネ200g 332円(税込358円) / 秋川牧園の若鶏モモ200g 380円(税込410円)



「朝日里山学校」で **4月3日開催**

感染防止対策を徹底し、10家族36人が参加！

「家族DEお花見& バーベキュー」

—JAやさと(茨城県)認知度向上に向けた取り組み—

「朝日里山学校」(茨城県石岡市)は、JAやさとと東都生協との関係が深いNPO法人アグリやさとが運営する廃校を利用した体験型観光施設です。この施設では例年約15,000人の訪問者がありましたが、コロナ禍で2020年は約2,500人と激減。東都生協では多くの組合員にやさと地区の良さを知ってもらい、「関係人口」*の裾野を広げるためのトライアルとしてこの企画を開催しました。

*「関係人口」: 移住した「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもない、地域と多様にかかわる人々を指します。



2回目の緊急事態宣言が解除された4月上旬、家族単位での行動で自由度が高い「リアル」な企画へのニーズは高く、申し込みは定員を超えて抽選になるほど。

参加者からは「鳥の鳴き声を聞き、グラウンドでゆったりと過ごせました。」などの感想も寄せられ、グラウンドに咲く桜に囲まれながら、家族で思い思いのひと時を過ごしました。

●JAやさと認知度向上の促進 その他の活動

■東都生協公式YouTube動画「【東都生協】行ったつもりで産地訪問～JAやさと編～」を作成
JAやさとと東都生協との取引の経緯や生産者の姿勢、生産物などを紹介した動画を作成しました。右記の二次元コードからご覧いただけます。
<https://www.youtube.com/watch?v=LMCjglWLUU>



■「皮ごと丸ごと有機野菜セット利用者限定オンライン交流会」を開催
オンラインで組合員と産地をつなぎ、農家の現状、利用している野菜などについて意見交換・交流をしました(2020年12月18日)。

コロナ禍の影響で直接の訪問や交流は、まだ難しい状況ですが、東都生協では今後もJAやさとに限らず、新たな交流の仕組みづくりを検討していきます。

今月の
つぶやき

新米の美味しい季節になりました。炊きたてご飯に、ほたてやいくらをてんこ盛りにするもよし、焼き鮭をほぐしておにぎりの具にするもよし。「ダイエット」の文字が頭の中をかすめるも、「おいしいものには罪がない」と、今日も生産者の皆さんに感謝しつつ、「食べ過ぎなければいいの」と言い聞かせて、いただきます～♪ Y.K

お問い合わせ 組織運営部
☎ 03(5374)4756

月曜～金曜：午前9時～午後4時
E-mail: kumikatsu@tohto.coop

〒115-0055 東京都世田谷区船橋5-28-6 吉崎ビル4階

